

土木工学科卒業生の活躍

皆さんの先輩にあたる土木工学科卒業生のOB・OGは、社会の様々な分野で活躍しています。その業種は、国土政策から都市計画、まちづくり、構造物の設計など幅広く、さらに専門性に特化した仕事など多岐に渡ります。先輩達は皆、土木工学科で学んだ知識と大切な仲間のネットワークを活かし、情熱を持って日々の仕事に取り組んでいます。

屋代 瑞希 さん

平成 26 年度 卒業

パシフィックコンサルタンツ株式会社 交通基盤事業本部 インフラエンジニアリング部



土木工学はひとつの学問の中に、地盤や水理、構造、環境、都市計画等、様々な分野があります。私は幅広い知識をベースに持ち、自分の専門性を活かして大きなプロジェクトに携りたいと考えていたので、総合建設コンサルタント会社に就職しました。

建設コンサルタントは、行政のパートナーとして国や地方自治体が管理する道路や橋、空港や河川、さらにはまちづくりといった様々な事業の企画・調査計画から設計等を担う、いわばプロジェクトの核をつくる仕事です。あまり知られていませんが、国内外のビックプロジェクトには実は欠かせない存在です。



私が以前携わった駅前広場の設計では、都市計画、建築、デザインといった社

内の様々な分野の技術者と密接に連携しながらプロジェクトを進め、多くの視点や考え方を身につけることができました。現在は、都市部の道路トンネルや地下歩道、地下鉄駅舎や洪水を防ぐ地下調節池等、地下構造物の計画や設計を担当しており、大学で学んだことが生きています。

この仕事に就いてよかったと思うのは、未来に貢献できると感じられることです。また、正解が一つではないため、専門性を高めるモチベーションにも繋がり、とてもやりがいがあります。携わるプロジェクトも多岐にわたるため、社内外の多くの人とつながりを持って仕事ができ、その中には日大OBも多く心強い環境です。

是非、まちづくりを支える土木工学の扉を開き、様々な分野を学んだ上で自分の専門としたい分野を見つけてください。将来、一緒にプロジェクトに携れる日を楽しみにしています！

是非、まちづくりを支える土木工学の扉を開き、様々な分野を学んだ上で自分の専門としたい分野を見つけてください。将来、一緒にプロジェクトに携れる日を楽しみにしています！

嶋田 剛士 さん

平成 27 年度 大学院修了

国土交通省 近畿地方整備局 奈良国道事務所



今年で社会人3年目となり、1年目に福知山河川国道事務所（京都府）、2年目に淀川河川事務所（大阪府）で河川行政の現場に携わり、現在は、奈良国道事務所（奈良県）で道路行政の現場に携わっています。具体的には、大雨が降ったときに川の水の氾濫を防ぐための堤防を整備したり、皆さんが日常的に使っている道路の渋滞を緩和するために、道路の交差点改良などを行っています。



さて、高校生の皆さん、“土木工学”から何を連想するでしょうか。英語では“Civil Engineering”と表現します。直訳すると、“市民の工学”です。皆さんが朝起きてトイレや歯磨きで使用する上下水道

も、スマホの充電のために必要な電力供給網も、登下校するときに利用している道路や鉄道の整備、そしてバスの運行管理に至るまで、全て“土木工学”の中に入ることができます。まさに、“市民の（ための）工学”ですね。日大理工土木で学べることはこれら多岐に渡っています。

また、人との出会い・繋がりという面でも強みがあります。土木業界で仕事をしていると、どこにいても日大理工土木の卒業生が活躍しております。そのような方々から在学中に学べる機会もあります。

そして、今でも学生時代に一緒に学んだ仲間たちとは、ことある毎に集まっています。土木の仕事は広く一般市民の生活に影響するため、様々な視点から話を聞ける関係にあることは私の財産です。是非、皆さんにも日大理工土木で様々な先輩・後輩、そして同級生と出会い、繋がることで自分の財産を創って頂けたらと思いますし、日大理工土木ではそれが創れると思います。